

2024年
3月



ちばさぽ通信

Vol.60

集まる・楽しむ・やってみる



表紙の団体紹介

ぴりーぶ

小さな子もお年寄りも、障がいのある人もない人も、誰もが楽しめる「カフェぴりーぶ」は、「やってみよう！」を実現するための場所でもあります。日によって寄席やマルシェなどのイベントが行われる店内の一角にあるのは、RYOTAのアトリエ。制作中の姿が見られるかもしれません。

※ぴりーぶが始まったとき、センターも少しだけお手伝いさせていただきました。団体の立ち上げや運営など、ちばさぽにご相談ください。

CONTENTS

● **事業&活動報告**

● 施設利用にあたってのお願い・ご案内

● **ミニコラムちばさぽの風 Vol.60**

● **登録団体活動紹介コーナー**

● **CatchUp**

● **ちばさぽからのお知らせ**

- 市民活動マッチングカタログ 2024
- 新年度ロッカー利用申請
- 第6回運営協議会開催のお知らせ
- 千葉市民活動フェスタ実行委員募集

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo

公式LINEにご登録下さい。➔



〈開館時間〉

平日・土曜
午前9時～午後9時

日曜・祝日
午前9時～午後6時

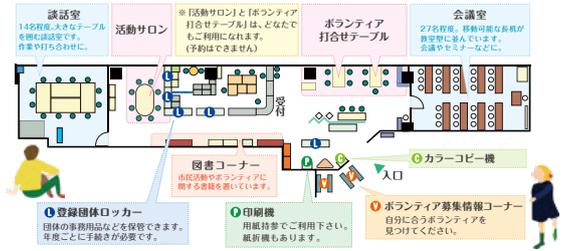
〈休館日〉

年末年始
(12月29日～1月3日)



施設利用にあたってのお願い・ご案内

～皆さまに快適に、有効に“ちばさぼ”をご利用いただくために～
当センターより、主に登録団体の皆様向けの施設利用にあたってのお願い(注意事項)や、最近お問合せの多い、団体登録の要件などのご案内をまとめてみました。既に当施設をよくご利用いただいている方も、これからの利用をご検討の方も、どうぞご一読ください!



○ご利用にあたってのお願い

- ・会議室や印刷機等の予約をキャンセルされる場合は、できるだけ早く当センター宛てに、**必ずご連絡**をお願いいたします。
- ・会議室や印刷機等の予約は、抽選予約期間を除いて電話でも受け付けますが、その後お早めに**使用許可申請書(利用予約書)**をご提出ください。(メール・FAX等での提出も可)
- ・談話室と活動サロンの間の壁は、上部が開放構造になっていますので、**声の大きさなどにご配慮**ください。

○団体登録の要件について

会議室や印刷機等の設備や一部サービスの利用は、団体登録が必要となります。新規に団体登録を希望される団体は、必要事項をご説明の上、登録に必要な書類をお渡します。なお、団体登録の主な要件は次のとおりです。

- ・市民公益活動を行っているもの及び行おうとするもの。

- ・営利活動、宗教活動、政治活動及び選挙活動を目的とするものでないこと。
 - ・千葉市内に所在地がある、または主に千葉市内で活動している団体であること。
 - ・構成する人数が2名以上の団体であること。
- ※営利組織内のボランティアサークルなど、社会貢献を目的とする団体は登録が可能です。
※町内自治会の登録も可能です。

○「利用案内」をご覧ください!

会議室等の予約方法や、団体登録についての詳しいご説明の他、設備の概要、利用全般における注意事項などを「千葉市民活動支援センター 利用案内」(A4判4ページ)にまとめています。当センターにて配布等している他、以下の当センターのホームページ(右のQRコード)

からダウンロードすることも可能です。

<https://chiba-npo.net/about/>



ミニコラム ちばさぼの風 vol.60 ソーシャル・ファシリテーション

■ファシリテーターとは

ビル管理などを行う企業名に「ファシリティ (facility)」という言葉が使われる例があるが、会議の場における「ファシリテーター」は、もちろん設備点検の人ではない。ウィキペディアによれば「グループや組織がより協力し、共通の目的を理解し、目的達成のための計画立案を支援する人」である。論点やゴールを明確にしなが、参加者全員が納得できるようにする、いわば交通整理役といいたい。助言者や学識経験者のように「より良いアイデアや進むべき方向を示す」のではなく、「参加者の中にあるアイデアや希望を引き出して、明確にし共有しながら、皆が納得できる方向に進むよう支援する」のがファシリテーターだ。

■社会活動におけるファシリテーション

当センターの登録団体はすべて何らかの形で「社会」とつながり、地域づくりや、社会問題の解決に取り組む活動を行っている。こうした活動に、会議や打合せは不可欠だ。しかし各人の思いが強いがゆえに、時として対立や決裂に至ってしまうことがある。そのような場面でこそ、ファシリテーションが生かされるのである。

■誰もがファシリテーターに

参加者の何人かがファシリテーター的な意識をもつと会議はスムーズになる。ポイントをあげてみよう。

①忌憚なく

まずは、皆が心おきなく意見を言える場を作ること。ファシリテーションの本にしばしば「アイスブレイク」が取り上げられるのはこのためである。話が長い人や同じことを何度も

言う人は、実は緊張している例が多い。ちょっとした息抜きで、会議はスムーズになるかもしれない。

②わかりやすく

言葉の理解が違っては話し合いが成立しないと、誰もがわかっているはずだが、外来語や熟語が多用されると意味の違いどころか、論点さえあいまいになる。無駄な時間を作らないためには、「やさしい日本語」で短く話そう。必要なら「それ、今の会議では○○を○にするという意味ですね」と確認しても、失礼には当たらない。

③見える化

板書や付箋を使うと「何を話しているか」が明確になる。メモはファシリテーションに有効なツールだ。キーワードだけでなく「何をどうする」までは書きたい。複数の意見が出た場合は理由も簡単にメモしておく、後で振り返るときにスムーズだ。

④結論を急がない

A案かB案かで意見が割れる場合、二者択一とは限らず、話を進めるうちにAもBもという形が取れるかもしれない。もっと話すと全く別のC案で合意できるかもしれない。

その日のうちに決めなければいけないゴールを明らかにしておくことで、無理に決を取るということも防げる。

※ファシリテーションに関する本はセンターにも何冊もあり、登録団体には貸し出しも行っている。

【おすすめ書籍】

「ソーシャル・ファシリテーション」

北樹出版

著者：徳田太郎・鈴木まり子

実際の活動事例を交えながらの具体的な解説は読みやすく、かつ納得できる。著者は二人とも日本ファシリテーション協会の役員。



登録団体活動紹介コーナー

ことばとコミュニケーションの会

活動エリア▶千葉市中央区
所在地▶千葉市若葉区
連絡先▶090-7255-6296 izumic733@gmail.com
担当者氏名▶出納(すいとう)

2019年の連続講座「声に出して楽しむワークショップ&コミュニケーション・ゲーム」を皮切りに「ことばとコミュニケーション」に関する講座を開催。2023年、3回連続講座「朗読で、自己表現にチャレンジ!」、また4月から、詩人の人生と詩を読む「詩を楽しむ」や「音読講座」を毎月1回開催。午後の新規クラス募集中!また「朗読講座」(第4月曜14:00~)2月より実施。



日本防災士会千葉県支部

活動エリア▶千葉県全域
所在地▶船橋市
連絡先▶090-3961-6283 toaiwase@office.chiba-bousaishikai.jp
担当者氏名▶濱本 武将(支部長)

近年の災害、特に大雨や洪水は、地区単位にとどまらず県下の広範囲に及ぶことや、県をまたいだ災害へと変容してきています。私たち防災士は、県下の防災士が丸となって県内全域を対象に、県民の皆さまへの防災・減災の普及活動に努めます。地方公共団体との連携、他の防災・災害ボランティア団体と共存協働し、防災力向上を目的とし、多様で柔軟な活動を行い、県内の防災啓発活動の活性化に努めます。



パルレ

活動エリア▶主に千葉市内や浦安市内
所在地▶千葉県内
連絡先▶090-8490-7061 sakusaku5sakura@gmail.com
担当者氏名▶雑賀(さいが)

パルレは障害のある「医療的ケア」の当事者や家族、そして応援する人たちを中心に、「誰もが自分らしく、地域で学び、暮らすこと」を目指し、当事者の「声」を発信している団体です。毎月一回、定例会やイベントの開催や会報誌を発行しています。パルレはフランス語で「話す」という意味です。話すことで互いを知り、地域にしなやかな輪ができ、どんどんと広がるようお願いしています。



特定非営利活動法人まちづくり千葉

活動エリア▶主に千葉市内
所在地▶千葉市中央区中央3-12-12
連絡先▶043-201-5515 npo@chal.jp
担当者氏名▶樫浦 敏彰(専務理事)

まちづくり活動を通じて千葉を良くしたいと思う人たちの集まる団体です。メンバーは一人一人が異なる分野で活躍する、多才なプロフェッショナル集団。千葉市内、特に中心市街地で行われるイベントの多くに関わっております。2002年1月に商店街の若者を中心に結成されました。街のイメージアップを目指すという志から始まったこの団体は、千葉のアイデンティティ確立とコミュニティの活性化などをミッションとして、様々な方向に視野を広げてきました。現在は千葉市民活動支援センターの指定管理者として、市民活動団体の活性化、ボランティアの底辺拡大などにも力を入れて活動しています。



CatchUp ~登録団体の活動・事業の紹介~

無料公開講座「成年後見人制度のしくみを知ろう!」開催のお知らせ (主催:特定非営利活動法人 びわの実)

成年後見人制度について、「よく耳にするけれどよくわからない」「自分や家族の将来のために興味はあるけれど…」「医療・介護・福祉関係の職務上、知っておきたい」などといった皆さんに、行政書士である講師がわかりやすく解説する、2時間で学べる講座です。

《開催概要》

日時▶2024年4月7日(日) 10:00~12:00
会場▶貸会議室グッドスペース Blue Mountain
(千葉市中央区富士見2-15-1ワラビビル9F)
受講料▶無料

◆お申込み・お問合せ(事務局)
TEL: 043-221-2355
FAX: 043-221-2367
E-mail: biwanomi0901@gmail.com

☆「びわの実」では、他にも有料の成年後見人養成講座(全12回の連続講座)を4月21日より開催予定です。詳しくは、上記の団体事務局までお問合せください。

ちばさぼからのお知らせ

■市民活動マッチングカタログ2024 間もなく完成!

当センターの登録団体のうち、ボランティアや新会員を積極的に受け入れている団体を写真付きで紹介する冊子「市民活動マッチングカタログ2024」が、3月中旬に完成します。今回で3回目の発行となりますが、初掲載の13団体を含む、過去最多の31団体の情報を掲載予定です。

カタログは完成次第、当センター内に配架する他、ホームページからダウンロードできます。活動内容だけでなく、団体からのメッセージや団体の夢なども掲載していますので、「ボランティア活動してみたい」という方や「NPOに関心がある」といった方は、どうぞご活用ください!



■新年度のロッカー利用申請について

登録団体を対象に、2024年度(4月1日から1年間)のロッカーの利用申請を受け付けます。新規に利用をご希望の団体の他、2023年度から継続して利用したい団体も申請が必要となります。「会議室等使用許可申請書」を、メール・FAX等にてご提出ください。締切は「3月31日(日)」です。申請団体数がロッカーの数(84個)を上回った場合は抽選となります。抽選にならず空きが出た場合は、4月1日以降、先着順で申請を受け付けます。なお、継続利用をご希望でも、2023年度中に一度もロッカーの荷物の出し入れを行っていない団体や、荷物を何も入れていない団体の方は、ロッカー利用の必要性をあらためてご検討の上、利用申請のご判断をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



■令和5年度第6回運営協議会開催のお知らせ

今年度最終回の運営協議会。センターを利用される皆様にとって、ちばさぼの仕事っぷりは、いかがだったでしょうか?ちばさぼの事業やイベント、ちばさぼが行っている広報について、皆さんがサポートしてほしかったことなどテーマを分けて語り合ひましょう。ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。



日時▶2024年3月26日(火) 19:00~20:00

会場▶千葉市民活動支援センター談話室

テーマ▶ちばさぼって、どうだった?

定員▶10名(申込み先着順)

参加費▶無料

対象▶千葉市在住・在勤・在学・在活動の方

■千葉市民活動フェスタ実行委員募集

今年11月頃に開催予定の「千葉市民活動フェスタ2024」に向けて実行委員を募集します。関心のある方は、ぜひご参加ください。登録団体の方、ボランティアや市民活動に興味のある方、皆様のご応募をお待ちしています。



開催日時▶月1回程度、平日の19:00~20:30を予定

開催場所▶千葉市民活動支援センター

任期▶2025年1月まで

募集人員▶10名程度 報酬▶なし

応募方法▶応募したい旨、センターまでご連絡下さい。応募用紙をメールにてお送りします。

募集締切▶2024年4月1日(月)

※第1回実行委員会の開催については、後日連絡します。

○お申込み方法(すべての講座・事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①事業名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

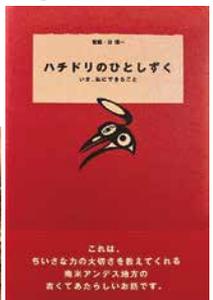


雀とハチドリ

「スズメノヤリ」は春の野草です。うす茶色の花は地味な印象ですが、広がった形が大行列の先頭で振られる毛槍に似ているということで、この名が付けました。スズメノエンドウなどもそうですが、植物の和名にはよく「小さい」のニュアンスで鳥の名が使われます。

さて写真の絵本は、雀よりもっと小さいハチドリのお話。南米アンデスに伝わる民話です。森が大火事になり、動物た

ちが我先に逃げる中、ハチドリは小さな口に水を飲んで炎に掛けていました。「それっぽちで何になるんだ?」という声にハチドリは「私は、私にできることをしてるんです」と答えました。市民活動も時折「何になるのか」と感じることがありますね。ハチドリの言葉を思い出しましょう。



編集後記

■暑さ、寒さも彼岸まで。この通信が届く頃は桜満開かしら? 素敵なお花見を^^ (な) ■『Apple Vision Pro』に興味津々、65歳。VRのその先の未来、悔ることなかれ。(ひ) ■去年は春秋シーズンが短く感じられました。今年はちゃんと春シーズンを楽しみたいです (ふ) ■古紙を簡単にしっかりと縛る方法をマスターしました。不要な書類の整理がはかどりそうです。(は) ■いつも利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。今回もよろしくお願いいたします。(よ) ■季節が駆け足で迫ってくるような気がしますね。身体も気持ちもマイペースで無理なく行きましょう! (り) ■今年の夏は、ちゃんと神輿を2回担ごうと心に決めました。(か) ■春ですな〜。日脚が伸び、暖かくなると心が弾んでしまいます。そう、心が弾んでしまうんですよ〜。「spring(バネ)」なだけに…。お後がよろしいようで。(し) ■友人から「梅にうぐいす」ならぬ「桜にうぐいす」の写真が届きました。日本中に良き春が、はやく訪れますように。(や)